

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会長 鈴木 和憲 / 幹事 久松 但

第 1518 回 第 34 巻 17 号 2024 年 11 月 28 日
 ■■■本日のプログラム■■■
 サッカー大会報告

■12月のプログラム■	
12月05日(木)	裁量休会②
1519回 12:30 12月12日(木)	クラブ協議会② 下期活動計画 理事会⑦
1520回 18:30 12月19日(木)	クリスマス家族例会 クラブ管理運営委員会 夜間例会
1521回 12:30 12月26日(木)	外部卓話 沼津市商工会 事務局 原所長 加藤直人氏

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37
 アクアガーデン迎賓館沼津
 TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内
 TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600
 E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古 良輔 / 編集者 颯川 ゆう子

出席報告 会員数 21 名			
例会	会員数	出席数	出席率
1518 回	21 名	19 名	90.48%

会長挨拶

● 会長 鈴木 和憲

米山梅吉の功績とフジコ・ヘミング

世界的に有名なピアニストのフジコ・ヘミングさんが今年 4 月 21 日に 94 歳でなくなりましたが、フジコ・ヘミングさんは米山梅吉が創立した青山学院緑岡小学校（現在の青山学院初等部）の第 2 期生であったことはご存知ですか。その後、青山学院女子高等部を経て東京藝術大学に進まれました。

小学校にはフジコ・ヘミングさんを含めて 3 人の外国の子供がいて、学校外ではよくいじめられたようですが、この小学校では全く差別なく（今でいう DEI）、校長であった米山はこの外国の 3 人には特に親身になって接し良く頭を撫でていたようです。フジコ・ヘミングさんの学歴は、彼女の音楽的才能とキャリアの基礎を築く上で重要な役割を果たしたそうです。彼女の独特の演奏スタイルと深い表現力は、国内外で高く評価されています。フジコ・ヘミングはスウェーデン人で画家の父、日本人でピアニストの母、そんな芸術一家に、生まれ、6 歳になると、フジコ・ヘミングは母の手ほどきでピアノのレッスンを始め、2 時間ほどのレッスンが日に何回も繰り返され、しかもそれは、大人同様の内容を持つ、厳しいスパルタ教育だったそうです。

緑岡小学校はその建築費や設備などの費用のすべてを米山梅吉が私財を投じ、1937 年(昭和 12 年)に設立されました。米山は自らの責任で学校経営にあたることを決意し、「学校が完成するまでは保護者からの金品は一切受けない」、「良い教育は良い教師にある」、「少数定員制を守る」という 3 つの方針を保護者に示し「生徒の教育は学校が責任をもって行いますから、学校にすべてをお任せください」と、学校と保護者の信頼関係の大切さを強く主張しました。保護者は学校を信じて、我が子の教育を託し、学校はその信頼に応じて立派な人間に育てます。「信じて託す」、という米山の生涯を通じた信託の精神がここにも表れています。

●欠席者（2名）

山本宜司、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

杉山真一、富岡由樹（11/16 Pre-Pets）

重光 純（11/19 沼津北 RC）

内田逸美（11/25 京都中 RC）

●スマイル報告

1.芹澤貞治：入会記念日のお祝いありがとうございます。

2.久松 但：前は、お休みしましてすみません。本日は、下田委員長、よろしくお願いします。

3.本村文一：所要にて早退します。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

① 沼津 RC 11/29(金) 休会 MU：無し

2.報告・連絡事項

① 12/19(木)のクリスマス例会の出欠席をご記入ください。

② 次週12/5は、裁量休会です。

③ 次々週12/12は、例会後、理事会がありますので、各理事は提案資料の提出をお願いいたします。

④ 12/12の下期活動計画の原稿を、12/5までに事務局に提出してください。

サッカー大会報告



U-8少年サッカー大会
沼津西ロータリークラブカップ
ポリオ募金
下田朗弘君

日時 2024年10月27日（日）

アスルクラロ沼津との協力関係では、5年連続5回目のサッカー大会開催となりました。

今年の参加チーム数は8チーム、合計87名の子供たちが参加し、約100名の保護者が会場に来ていました。

今年は、サッカー大会への協賛にあたり、サッカーボール10個を寄贈して参加チームへの配布、サッカー大会運営に必要となるテントやカラーコーンなどの備品を寄贈するとともに、参加した子ども達全員に参加賞を寄贈することができました。

多くの子ども達が元気いっぱいプレーする姿、負けて悔し涙を流す姿などを見ることができ、地元地域の子供達に対して一生懸命になって物事に取り組む機会を提供できたことは、当クラブにとっても大変意義のあることであり、ロータリークラブの存在や活動内容を知ってもらえる良い機会にすることができました。

サッカー大会後は、インターアクトクラブの生徒達、アスルクラロ沼津の選手と一緒に募金活動を行い、合計金45,293円の募金を集めることができました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。





司会より活動報告があり、その後参加ロータリアン・部長・顧問先生の順に話をします。他に特別なければ閉会点鐘になります。所要は30分程度です。

活動については、献血のサポーターとして「アボちゃんサポーター」活動、心のままアートプロジェクト活動(障害者やその家族が壁画やウインドウアートを共同製作する)、沼津夏祭りボランティア、沼津市パークレットデザイン会議(イーラde前の公共スペース)、杉原千畝式典(慰霊祭)の運営応援などがあります。ボランティア案件は、各活動団体からの依頼や顧問先生や各生徒からの提案から成り立っています。

各生徒にとっては、進学にあたっての内申点や自己研鑽など有意義な活動となっていると感じました。

インターアクトクラブについて



奉仕プロジェクト委員会
インターアクト委員長
山田和典君

本日は、加藤学園高校インターアクトクラブについて話をいたします。加藤学園高校インターアクトクラブは、当クラブの提携クラブとして、2009年5月14日に創立されました。現在の部長は3年生の植松宗治郎さん、顧問は鈴木力也教諭となっております。現部員数は概算で1年生55名、2年生15名、3年生20名と総勢90名程で、これは2620地区のインターアクトクラブで最大人数とのことでした。

例会は当校教室で行い、進行は、開会点鐘の後

4クラブゴルフコンペ

12月1日(日)に4クラブ合同ゴルフ大会がすがすがしい晴天の下、ファイブハンドレットクラブにて開催されました。

今回は沼津北ロータリークラブの主催で、30名の会員が参加しました。当クラブからは5名の参加となり他クラブとの親睦を図る良い機会となりました。

